

議会からのお知らせ

民一人一人が安心して暮らせる資源循環型社会を実現し、自立的で持続的な社会を創設していくねばならない。森林が果たす公益的機能とその重要性を訴えるとともに、関連法案の確実な成立に向けた運動を展開している。



い行ひ、地域発展の確
固たる礎を築くため、
国会及び政府に對して
の要望活動や国土保全
に関する調査などゝの活
動を続けてゐる。

第18回 四国土砂防災ネットワーク議員連盟定期総会



今年の夏の猛暑は大変でした。そんな中、7月初めの西日本豪雨では本町立川地区が甚大な被害を被りました。

さうに台風21号、北海道胆振東部地震と相次ぐ災害に改めて自然災害の恐ろしさを実感したところです。

暑さ寒さも彼岸まで、と彼岸花の開花とともに朝夕涼しさを感じる季節となりました。ご近所のコミュニティが安心感につながり、自分の身は自分で守るを心して災害本部からの情報には速やかな行動をとりましょう。

災害が無いことを祈りながら私達も議会人としての自覚を持つて議会活動に務めて参ります。

広報編集特別委員会
委員 小笠原妙子

編集後記

○三(谷幸一郎議員から一身上の都合により、成30年8月一日)をもつて議員を辞職したい旨願が提出され、佐藤徳治議長が辞職を許可し、議員辞職。

○二(谷幸一郎議員から「身上の都合」より、平成30年8月一日をもって議員を辞職した)の辞職願が提出され、佐藤徳治議長が許可した。

第17回定期総会開催 四国土砂防災ネットワーク議員連盟

8月3日徳島県阿波市で、第17回定期総会が開催された。この議員連盟は平成13年に設立し、現在48市町村が加盟している。

委員会の動き

移動期日前投票に関する調査

平成 30 年 9 月 12 日

平成 28 年の参議院選挙で、島根県浜田市が全国で初めて導入後、徳島県三好市が平成 29 年衆議院選挙で移動期日前投票所を開設している。

徳島県三好市は、平成18年3月1日に6町村（三野町、井川町、池田町、山城町、西祖谷山村、東祖谷山村）が合併し、人口26,467人（平成30年7月末現在）面積721.42km²（四国一の面積）投票所の設置状況77か所（移動期日前を除き、旧町村単位の期日前投票所6か所、投票区の限定なし）であるが、今回調査した地域においては、選挙人名簿登録者が7名になってきたことから、投票立会人の確保が困難となり、旧西祖谷第6投票区を池田第32投票区の区域へ廃合決定したが、約15kmと遠く選挙人の投票機会の確保が問題となり、将来を見据えた対応が必要であり、効率よく巡回することを考慮し車両を利用した移動期日前投票所（短時間）を開設している。この取り組みについては、いくつかの運用上の課題があることも伺っている。本町内では、2か所の期日前投票所が開設されているが、距離・移動時間等を考慮することに加え、高齢化に伴う交通弱者対策から考えても同様に取り組む必要があり、今後、選挙管理委員会の意見も踏まえ進めていくことが望まれる。



德島県三好市

環境に関する調査

嶺北4町村で運営されている嶺北広域清掃センターは基幹的設備改良工事が完了し、ごみ焼却処理施設が新しくなった。

当清掃センターでは、最新の技術により、燃えにくいごみも高温で完全に焼却されている。また、ばいじん、有害ガスの除去、排水の循環再使用、臭気、騒音、振動公害を発生させないなど、環境に配慮した焼却施設となっている。運転管理はすべて中央制御室で行っており、モニターにより焼却状態などの主要箇所を常時監視し、安全・確実・効率的なごみ処理が行われていることがわかった。

粗大ごみの処理施設では、粉碎ごみを4種類に分別しており、このごみの中から有価物の回収も行っているが、この分別は職員が手作業で行っている。

今回の大規模改修により、嶺北地域での長期的かつ安定的なごみ処理環境が整備され、住みよい環境づくりが進められていることを確信した。



嶺北清掃センター